

陸軍

命令

一中隊八時行動ヲ開始シンバンベルタンコ出發ス
 第一小隊ヲ本道右側山地ヲ掃蕩セシメ主カハ本道上ヲ前進シ不備
 分子ノ掃蕩ニ任ス
 ベルタン附近ハ支那人家屋多數ニシテ共產黨員一名ヲ刺殺其ノ
 家屋ニ軒ヲ燒却ス
 本ノ刺殺數 ハ七名 十四時道標ヲ天附近ニ於テ掃蕩免
 了シ一中隊ハ十時至今集結ヲ終リ十五時カニホニフルニ向
 前進ス十七時到着直ニ第一小隊ヲテケニホニケ、テラス、分
 遣セシメ第三次電圍陣ヲ完成ス
 二 松下伍長以下七名都落北端道路上ニ位置セシメ警戒ニ任セシメ
 一 第一隊口口命令
 三月十八日
 一 未ルニテ十日十時ヨリ戰没者ノ大隊合同慰靈祭ヲ實施
 故等各隊ハ左記ノ通り心得ルベシ

左記

0238

<p>1. 場所 セレムハン大隊本部講堂</p>	<p>2. 参列者 セレムハン部隊ハ勤務ニ支障ナク將校以下全 員出勤部隊全員</p>	<p>隣地部隊ハ道宜縁故者ヲ参列セルル事 ヲ得</p>	<p>3. 集合隊形 別紙西面ノ如シ</p>	<p>4. 服装 徒手帶劍(刀)巻脚絆(ト)路綫ノ佩用</p>	<p>5. 祭場要員 大隊本部第5中隊機関銃中隊ヲ各名 長ハ八時三十分迄ニ集合</p>	<p>現在頁 日</p>	<p>九月十九日 水曜日 晴 於カニホニール名ラウラン</p>	<p>一中隊ハ七時未八時行動ヲ開始ス幸リハ本道セラケニ向テ前 進シ右側山地ヲ搜索不慮分子四五名ヲ刺殺ス</p>	<p>第一小隊ヲカニホニール名ラウランヨリ迂回セラケニ向テ前進セム テ附近ニ敵性分子ノ策源地ナルヲ持テ搜索班警戒ヲ嚴重ニシ</p>
--------------------------	--	---------------------------------	------------------------	---------------------------------	---	------------------	---------------------------------	---	---

東京小澤館

0239

陸軍

命令

現在員
月 日

不傾分子摘獲要務不傾分子九五名刺殺ス

一山隊八十六時掃蕩ヲ終リ集結ヲ完了シ十六時三十分カラ

クワランニ到着シテ市街北側ニテ宿營準備完了ス

新隊衛兵トテ市内伍長以下五名服務ス

三歩兵第土新隊口々命令
二月十九日 一隊本部

二月九日 陸軍兵長 藤本 栄 一

一月九日 陸軍上等兵 植村 達 治

二月九日 同 小林 早 人

二月九日 同 村岡 嘉 一

陸軍伍長

九三名

二月十日 金曜日 晴 於クワラン

一中隊ハ八時起床本日大隊ハクワランニ周辺ニ位置シ支動

静ヲ監視ス

0240

命令

中隊ハ依志市街以北端在置シ土民ノ監視ニ任スルト夫ニ見守ル兵器放服ノ手入ヲ実施セシム

ニ本日同地ニ宿營ス

柱任長以下五名部隊衛兵トテ服務ス

三 粟命令第四號

第三大隊命令

三月五日
クラクラン

一 銃ヲ有スル敵性ノ分子ハ「カニホニセ」ホツ「カニホニル」ヘラナシ
間、地重ニ逃避潛匿シタルモノ知レ

ニ 第三大隊（現有兵力）ハ西原掃蕩隊トナリ「カニホニセ」ホツ
「カニホニル」ヘラナシ東北方約ニ村間、敵性分子ヲ掃蕩ス

ニ 第五中隊（配属如故）ハ三日早朝現在地出發同日
近ニ「カニホニル」ヘラナシ東北方約ニ村附近ニ至リ包圍態ヲ

構成スベシ

地重内掃蕩終ラハケル「ブロク」道ニ道標「一四附近」ニ

東京小澤

26

陸軍

兵力ヲ集結シ敵性分子ノ情況ヲ搜索シテ、後命ヲ待
ツベシ

四 第六中隊(既編知故)ハ、五日夕迄ニサカイニダンニカニホニルヘラ
ニ、東方約ニ科一南側地區ニ至リ、範圍圖ヲ構成スベシ

地區内掃蕩終ニハ、セケル「プロガ」道上道標「一七」南側
附近ニ兵力ヲ集結シ敵性分子ノ情況ヲ搜索シテ、後命ヲ

待ツベシ

五 第七中隊(既編知故)ハ、一部ヲ以テ「セケル」「プロガ」道上道標
「三〇」南方約ニ科一附近ニ主力ヲ以テ「カニホニル」ヘラ
「カニホニル」ヘラニ、西側附近ニ至リ、五日夕迄ニ範圍圖ヲ構

成スベシ

地區内ノ掃蕩終ニハ、カニホニルヘラニ、附近ニ兵力ヲ集結シ
敵性分子ノ情況ヲ搜索シテ、後命ヲ待ツベシ

六 第八中隊(既編知故)ハ、各一部ヲ以テ標高「三・五」カニホニ

0242

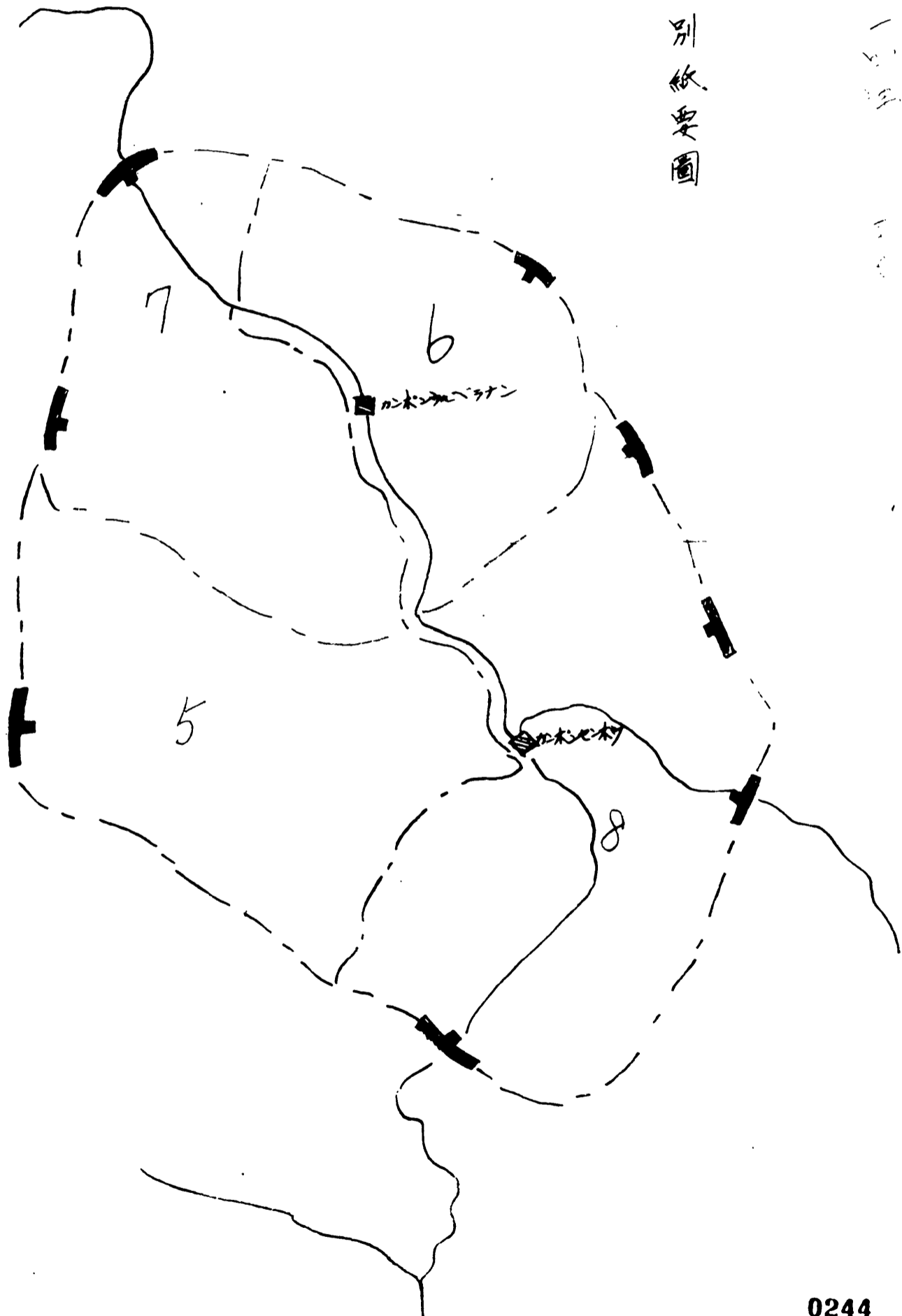
セニホシ東北方約四軒(西方約三軒)北同標高南方三軒
 コム林縁端カニホシセニホシ東南方約三軒半コム林縁端
 ロケルーフログ道と道標ゴニ南側コム林縁端附近ニ
 到リ至日夕迄ニ包圍圖ヲ構成スル
 各地区内掃蕩終ハバカニホシセニホシニ兵カヲ集結シ敵
 性分子ノ情況ヲ搜索シマシ後命ヲ待ス
 但レ一部ノ兵カヲクワラクワンーセムハン道と道標標「ロ
 ーカニホシセニホシ道と」前迄セムルヲ要ス
 ヒ爾今諸隊ハ予備隊トス至日夕迄ニセケルーフログ道
 と道標一六附近ニ到リ後命ヲ待ス
 ハ各隊ハ至日早朝現狀地生後自動車行ニ依リクワ
 クワンーセムハンーカニホシセニホシ道但シ某隊中ハセケル
 マケニカニホシセニホシ道前迄ニ包圍圖ヲ構成シ敵性分子
 脱逸ヲ防止シマシ夜ヲ徹シ至日早朝自行動開同日々迄

東京小澤納

0243



別紙要圖



0244

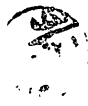
27



<p>ニ掃蕩ヲ完了スベシ</p> <p>九各部隊ノ行動地域ノ境界ニ包围ヲ構成要領別 故要圖ノ如シ</p> <p>出發ニ関シハ別命ス</p> <p>百彈藥ハ定數糧秣ハ四日分ヲ携行スベシ</p> <p>ニ合吉某ハ從來ニ同シ</p> <p>二千ハ現在地ニ依リ前進スルハ予備隊ト共ニ七十里ノ距離ヲ 道ニ上道標ヲ一六附近ニ至ル</p> <p>東天隊長以煙 西 原 大 尉</p> <p>下連法 各隊命令受領者ヲ兼メテ是等筆記セシム</p> <p>九三名</p> <p>三月三日 土曜日 晴 於クヨコヤニシテモハンカカテカテ 一 中隊ハ七時半分起床 八時半分第五中隊宿舎前ニ集結ヲ 完了ス 中隊ハ自動車ニ台ニ分乗シ九時先ズモレムハンニ向フ</p>	<p>現在員</p> <p>月 日</p>
---	-----------------------

陸軍

0245



途中險阻ナル山道ニテ、自働車行ハス非常ニ困難ヲ極ム	二十時セムバンニ到着ニテ、二時間ノ大休ム後、十四時三十分自的地下	ルカンホントンテンニ向フシテ、四十分中隊先カ八直ニカホントン	ラン進歩附近部落ヲ掃蕩ヲ實施シ、不領分子之石ヲ刺殺ス	十九時五分迄警準備ヲ完了ス	第一小隊ヲ本道ニ上ラ前進セシメ、南方一軒地奥ニテ第一	次々重陣ヲ完成シ、夜ヲ徹ス	三、今田伍長以下七名ノ捕トシテ服務ス	現収員	九三名	三月五日 日曜 晴後雨 於クホントンテン一カホントンヘラン	一中隊ハ八時起床八時行動ヲ開始ス	中隊先カハクホントンテン一カホントンヘラン道ヲ前進シ、逐次掃蕩	ヲ實施シ、第一小隊ハフコガ南方一軒地奥ヨリ逐次前進掃蕩ヲ	實施シ、十時掃蕩ヲ完了シ、クホントンヘランニ集結ス
---------------------------	----------------------------------	--------------------------------	----------------------------	---------------	----------------------------	---------------	--------------------	-----	-----	-------------------------------	------------------	---------------------------------	------------------------------	---------------------------

東京小洋館

0246

陸軍

此附近ハ支那人家屋小敷ニテ一般ニ平意ニテ農事ニ勵ミ	ソアリ持主人壽ニ好意ヲ有セリ	十六時五分迄警備ヲ完了ス	一 加藤上等兵以下五名分哨トテ服務ス	命令 三 護作命第三五號	南警備隊命令 三月二十三日 セラムバン警備隊本部	一 諸情報ヲ綜合セルニセラムバン及「マヨ」市街ニハ警備	隊到着以前ヨリ相當數敵性分子潛在トシ「ミナ」及南	警備隊ノ數度ニ至ル敵性分子摘發及除ヨリ却テ警備	隊ノ位置セル「セラムバン」「マヨ」両市ヲ安全トシ「興地」衣リシ	敵性分子更ニ潛入セルモノ如シ	二 南警備隊ハ三月十七時五分期ニ一齊ニセラムバン及「マヨ」	ノ潛在敵性分子並共産黨員ヲ徹底的ニ摘發及除セシ	トス
---------------------------	----------------	--------------	--------------------	-----------------	--------------------------------	-----------------------------	--------------------------	-------------------------	---------------------------------	----------------	-------------------------------	-------------------------	----

0247

二南九州地方警察備隊長ハ各管管備隊長ハ或シ得ル限リ
 多数ノ兵員ヲ以テ「セレハ」及「マシカ」市内ニアル敵性分
 子並共黨員ヲ摘發及除スル如ク三月十五日「特」ニ「請」申
 備「免」了「シ」テ「特」分「期」ニ「齊」ニ「檢」察「手」(家宅搜索)員
 施スベシ
 檢索實施ニ當リハ憲兵隊及「ネ」グ「リ」ム「シ」ラン「シ」ニ「カ」ヤ
 政廳之「助」力ス
 四「セ」レ「ハ」ニ「向」ノ檢索實施ハ別冊檢索計畫ニ據ルベシ
 其「細」部「ハ」別冊ニ「指」示ス各隊ハ檢索計畫中「準」備
 並「秘」密「保」持「條」第「一」項「ニ」依「リ」行「動」スベシ
 「マ」シ「カ」市ノ檢索ハ別冊檢索計畫ニ準據シ大本サ
 佐「通」直「計」畫スベシ
 但「シ」憲兵ト「シ」連「絡」濟「ス」ル「ニ」其「他」ニ「分」達「ス」レ「テ」此「等」機「機」
 更「ニ」事「前」途「路」ヲ「シ」テ「三」者「一」体「ト」シ「密」接「セ」ル「助」力「ト」ス

東京小隊

一 實施スルヲ要ス

五 第三中隊 本肅清間、マシカニ到リ原所屬ニ復歸シ

終ニ八道ニ現存地ニ歸還前仕務ヲ續行スベシ

六 第三大隊長ハ軍旗護衛トシテ、一、小隊ヲ二十四日八時迄ニ

聯隊本部ニ出シ第三中隊ト交代服務スル第三中隊

歸還セバ原所屬ニ復歸セシム

七 各隊ハ秘密保持ニ細心ノ注意ヲ拂ヒシ之ヲ為セシム

八 集合時、集合ニ関シハ其目的ヲ明示セラルヲ要ス

九 予ハ警備隊本部ニ依リ

十月八時ヨリ逐次、セムハン地區檢索状況ヲ出現

ス

南警備隊長 渡邊 大佐

南警備隊 會報 三月三日 一四〇〇
セムハン警備隊本部

會報

四

一 部隊本部衛兵司令 山本 大佐 勤務振リハ熱心ニシテ

	部下ノ掌、程確實ニシテ其教育モ亦徹底ニ服務狀
現 在 員	態良好ナリ
	一軍通信小浦方軍勢ハ許可證ヲ所持セズ市街ヲ漫
	歩ニテノ注意ヲ要ス
	一市街ニ於ケル敬礼動作ハ依然不可ナリ持ニ出テ官
	ニ對スル敬礼ノ頗ル不良ナリ
	一近時各隊宿舎附近ニハチニ竇窟入ラノ防諜其他
	衛生上宿舎附近ニ至ケラレメサルヲ要ス
異 動	陸軍一等兵 前川 孝房 人
	及後熱ノタリ診断ノ結果第四野戦病院ニ入院ス
現 在 員	九ニ名
月 日	三月二十三日 月曜日 晴 於カニホニクルヘナン
	一中隊ハ五日大隊日々命令ニ基キ下士官以上ニ對シ聯隊長
	敵ノ訓示アテニテ區隊軍勢ヲ除ク上士官以上十名十時出發

東京小澤

0250

ニ方針

セレムバン及「マシカ」何カ一市人検索ヨリ他市敵性分子ヲ逮捕
セシメザル如ク西市同時ニ行ヒ検索ハ警備隊政廳憲兵兵站
等所有望園機關渾然一帯トナリ將來ニ禍根ヲ胎セザル如ク
徹底的ニ行フ

ニ三月十日時各隊下士官以上(兵)指導監督ノ為最小限ノ幹部
ヲ残置(及憲兵隊政廳等別原者ヲセレムバン俱樂部ニ招致シ
極秘裡ニ各行動ヲ説示シ打合ヲ行フ之ヲ為速射砲中隊ハ所要
ノ兵員ヲ出シ同時迄ニ會場設備ヲ行フト夫ニ湯茶ノ準備ヲ充
隊砲中隊ハ會台間俱樂部ノ四圍ニ警戒兵ヲ配置シ招致セシ
者以外ハ一切入場セシメサルヲ勿論俱樂部ノ近接ヲ阻止スルト
夫ニ會場ノ内外外部ヨリ聴取セラレサルヤニ注意シ通時勝隊副
官ニ連絡セシム
命令者ハ晝食及「セレムバン」附近ノ地圖ヲ携行ス

陸軍

不整備隊本部ハ實施要領第五項ノ紙中同第八項ノ標示紙
並同第十項ノ報告用紙ヲ三月十日會合時迄ニ準備シ會合
時關係者ニ配布ス

關係者ハ右ノ用紙ヲ更ニ部下等ニ分配スル要マル時ハ配置ニラフ
直前ニ於テハ紙面ノ漏洩セザルコトニ最善ノ注意ヲス

3 改竄ノ利務所内ノ設備ヲ豫メ計畫シ置キ三月十日以後改
備ヲ行フ設備スベキ事項ハ如シ

ハ被檢者者ハ組ニ分ケ收容シ得ル如ク室準備

ハ再調査者ヲ收容シ得ル如ク別室準備

ハ調査所ノ準備

ハ右ノ標示紙所要道標ノ設置
木湯米ノ準備
4 御前中尉ハ實施要領第五項ノ自動車ノ配當ヲ計畫シ
十者會合時關係者ニ通報ス

陸軍

- 5. 配置ニ就ク直前部下ノ軍紀風紀ノ緊縮ニ關スル注意ヲ與フ
- 6. 配置ニ就クニ進路地味ヲ誤ラサル如ク要スルハ三日會合終了後地味偵察ヲ受
- 7. 秘密保持ニ就キハ特ニ細心ノ注意ヲ拂フ
- 8. 本計畫中會合時進ニ準備ヲ要スル事項ハ其ノ關係者ニ指示シ行ハレム

五 檢索檢挙ノ實施要領

各隊ハ別命ナク予旨ノ時半ヲ期シ一齊檢索ヲ開始シ概テ八時ヲ以テ終了スルニトス 本檢舉ニ從事スル下士官以下ノ服裝ハ執銃(拳銃)帶劍トシ彈藥ニ口發及水筒晝食ヲ携行ス其他ノ者ノ服裝及携行品ハ之ニ準ズ

2. 家宅檢索ハ民衆ノ如何ノ問ハズ又安居證ヲ所持スルト否トニ拘テ不行ヒ檢挙ハ若男女ノ問ハズ又治安維持會員或ハ皇國各機關ニ於テ使用中ノ者ト雖モ容赦セザルニトス

0253

3. 檢索實地高ノハ敵性分子共產黨員ヲ徹底的一掃發シ且ツ矢
 巻銃砲刀槍塚柴燃料脂油類通信器材信號彈等(檢將抗
 日並共產黨ニ関スル證據物件) 鐵道破壞用具(大釘拔等)
 者物或ハ細菌謀略ニ使用シ得ル物暗號書密電線切断用
 具青天白日旗蔣介石ノ寫真等ヲ相收ス(ハ)
 4. 敵性名義者トシテ判定標準左ノ如シ
 (1) 檢索或ハ檢察ニ際シ反抗シ又ハ態度不遜ナル者
 (2) 第三項記述ノ物出ラ所持スル又ノ(家宅内ニ於テアル又ノ場合)
 (3) 檢索開始セテ企テスノ及家宅搜索済ノ家ニ未済家屋居住者ニ於
 テハリタル者
 (4) 敵性分子共產黨員ノ疑ヒアル者
 (5) 馬來作戦開始以後ノ新來者並ニ無賴漢
 (6) 檢員
 (7) 其ノ他特ニ疑シキ者

0254

5. 敵性並共產黨員容疑者八直ニ之ヲ逮捕シ現地ニ於テ檢問スルコトヲ
ク豫メ準備携行セル銃片ニ容疑者ノ氏名ヲ附シ利務所ニ送
スルモノトス

自動貨車 八月五日ハ特關係者ニ送付スルモノトス

6. 利務所内ニ於ケル調査委員並請勤務員並本區分附表第ノ如シ
ク相収兵器類ハ各隊毎ニ監視者ヲ附シ新隊兵器修理工場前廣場
ニ集積シ御前中ノ村ニ引渡スモノトス

此際特ニ種類ノ數等ヲ明確ナラシムルヲ要ス

但シ爆發物等危険ナルモノ或ハ通信器材等特殊技術ヲ要スルモノハ
速ニ警備隊本部ニ報告スベシ

8. 檢索終了家屋ハ之ヲ標示シ檢索ノ重複ヲ避クルト共ニ特ニ隣接
部隊トノ連絡ヲ保持シ檢索間土民ノ逃避ヲ防止スルト共ニ市
内ノ交通ヲ禁ジ濫リニ其ノ位置ヲ移動セシメザル如ク留意スベシ
9. 檢索實施ニ當リテハ特ニ左記事ノ項ヲ嚴守スベシ

川軍紀風紀ノ緊縮ニ就テ八持ニ事前ノ注意ニ遺漏ナカシメ各級
幹部ハ終始其實行ヲ監督シ軍紀風紀ノ嚴正ヲ期スベシ
四 家定搜索ニ當リテハ先ズ屋外ニ所要ノ監視者ヲ配置シ不慮ノ
走害豫防ニ注意スベシ

三 搜索定スル一家屋同時四名以上ヲ以テ實施シ持ニ其長ハ嚴選ス
シ
二 搜索終了後ハ各隊毎ニ成ル可ク速ニ全員ニ對シテ所持品ノ検査
ヲ實施スベシ

四 調査

一 被檢者者ノ調査ハ附表第一ノ人員ヲ以テ行ヒ調査ノ結果良民タラ
ズハ明ロトシテ者ハ簡明ニ將來ヲ戒メ直ニ歸還セシム

二 初回ノ調査ニ依リ疑ハシキモノハ再調査ス之ガ爲メ初回ノ調査ハ成
ルヘク長持ヲ要セサル如ク留意ス

三 運果者調査ノ端緒ヲ得シ時ト雖モ之ガ調査ハ成ルヘク他日ニ讓ル

0256

4
又訊問中 彼等カ語ルニ落ケ不用意ノ間九日宣傳ニ利用セシ得ル
ガ如キ事項等ヲ申述ハタル時ハ將來ニ參考ニ資ルルヲ記録ニ
トシテ別ク留意ス

五 處断

- ① 左記ノ者ハ處断ス
- ② 敵性分子共產黨員タル事ハ別カシ者
- ③ 態度終始不遜ナル者
- ④ 本人ノ存在ハ社會ノ秩序ヲ乱ルト判定セシトシ者
- ⑤ 處断ノ執行
- ⑥ 處断ノ執行日時場所執行者等ニ関シテハ更ニ協議ス
- ⑦ 本人ヨリ其連累者搜索ノ端緒ヲ得ニルガ如キ者ハ當分其執
行ヲ猶豫ス
- ⑧ 萬民ノ戒トナルベキ者ハ公示スルコトアリ

六 檢舉等並處断執行後ノ處置

0257

の是レが一彼民及ボシタル影響ニ留意シ之ヲ善導スル事ニ執リ宜
傳資料ニ利用マラシヤル如ク特ニ華僑ノ文通ヲ調査ス
四一層敵性分子共産黨ノ動キニ注意シ小康ヲ得タルニ安ジ彼等ニ兼
ラルル罅隙ヲ與ヘタル事ニ留意ス

×報告

一各隊ハ檢索終了後速カニ別紙様式ノ附表ヲ添付シ其成果ヲ
兵所特出檢査ノ結果ヲ報告ス(一)

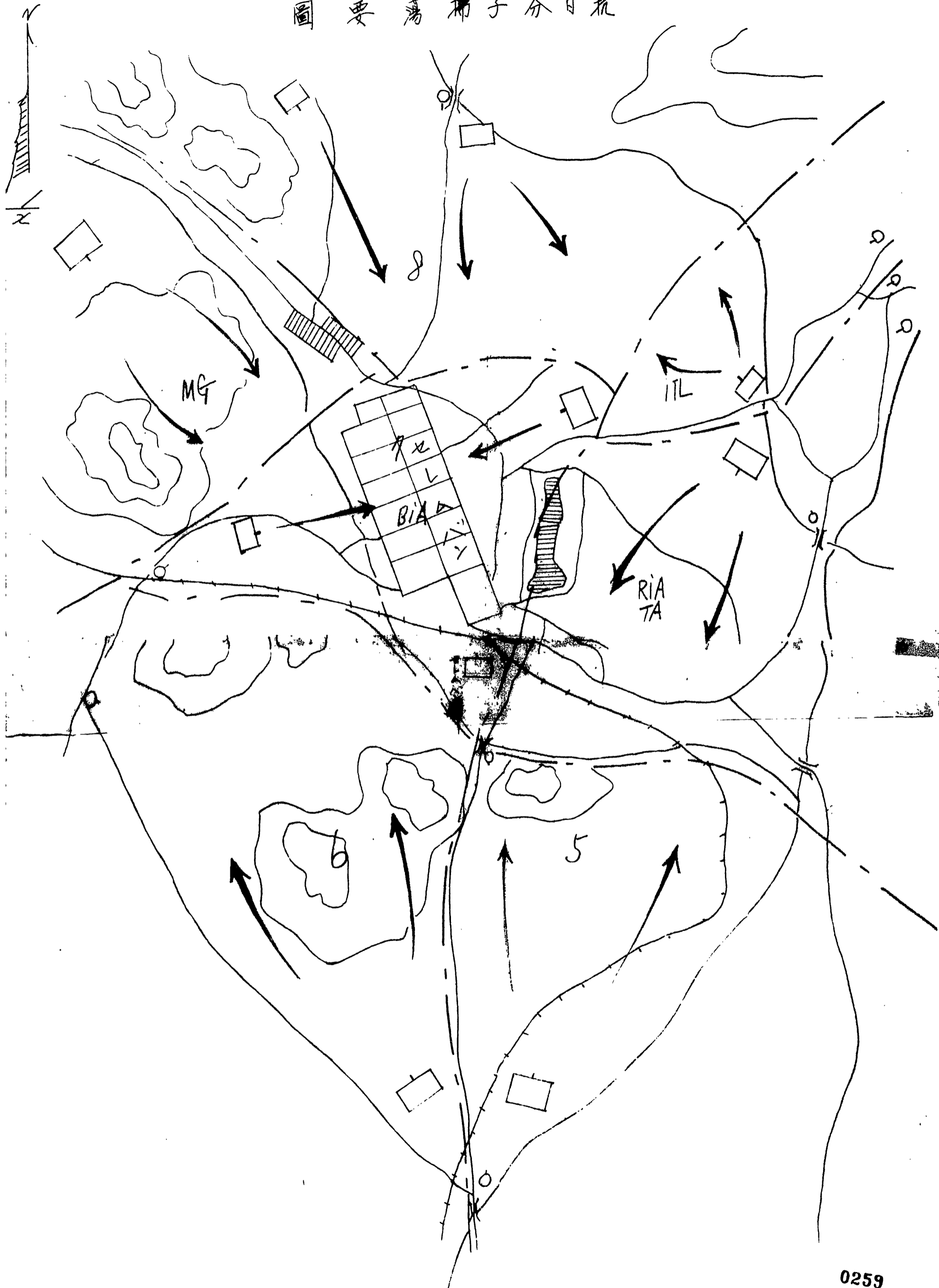
二調査官ハ調査終了後其結果ヲ成ルル速ニ様式其一ニ準シ
區分シ之ニ將來ノ參考資料ヲ添ヘ提ホス(一)

ハ其他

一政廳ニ於テ必要ニ應ジ被檢者者ニ食事ヲ給ス

二調査ニカキハ民族性ニ留意シ其手段方法ヲ考慮セサルヘカニ之
カ為經驗者ノ經驗談ヲ聞ク

抗日分子掃蕩要圖



0259

考 備	全 般 佐 伯 大 尉											勤 務 區 分	被 檢 査 者 調 査 委 員 並 刑 務 所 内 於 ケル 諸 勤 務 差 出 表				
	再 調 査			調 査													
	警 察 署 長	憲 兵 分 遣 隊 長	藤 側 大 尉	警 察 署 長	憲 兵 分 遣 隊 長	杉 浦 少 尉	森 少 尉	片 岡 中 尉	松 永 中 尉	中 井 中 尉	藤 側 大 尉						
一 刑 務 所 内 外 警 戒 兵 八 執 銃 ト 又 整 理 班 員 八 執 銃 及 ハ 又 其 他 八 略 裝 ト 又 ニ 當 日 八 時 迄 諸 準 備 ヲ 完 了 シ 了 ム ト ス	刑 務 所 内 外 警 戒																
	8 ヲ リ 下 官 一 兵 一	刑 務 所 内 外 警 戒	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	差 出 部 隊			
	刑 務 所 内 外 警 戒	刑 務 所 内 外 警 戒	刑 務 所 内 外 警 戒	刑 務 所 内 外 警 戒	刑 務 所 内 外 警 戒	刑 務 所 内 外 警 戒	刑 務 所 内 外 警 戒	刑 務 所 内 外 警 戒	刑 務 所 内 外 警 戒	刑 務 所 内 外 警 戒	刑 務 所 内 外 警 戒	刑 務 所 内 外 警 戒	刑 務 所 内 外 警 戒				

0260

別紙様式其ノ二

										品	目
										員	数
										品	目
										員	数

三月五日「セラム」市街「於」止押収品一覽表
第 中 家

0261

命令

セラムバンククラブニ向フ次期掃蕩ニ関スル注意打合
ヲ實施シテ時分部隊ス

ニ残留者ハ宿营地ニ於テ完全ニ兵刃ヲ手入ヲ實施セシム
午後ハ勤務ニ支障ナク全員休養セシム

三十四時第一分哨ヲ第六中隊ト交代ス

五部隊直接衛兵トシテ市内伍長以下五名服務ス

六 西作命第一六號

第三大隊命令

三月二十日 一六〇〇
シンクスラント エイティ

一セラムバン及マラカ市街附近敵性分子ノ情況並南營

備隊企圖渡作命第一二五號ノ如シ

ニ北地區警備隊ハ三月二十五日〇七〇〇ヲ期シセラムバン

市内及其附近敵性分子並共產黨員ヲ摘發ス

除スル為一齊檢査ヲ實施セントス

ニ各隊前冊檢査計畫ニ依リセラムバン市檢査

0263

ヲ實施スベシ

四各隊ハ千五百四時三十分迄ニ互記行軍序列ニ依
リ第八中隊宿舎前ヲ先頭トシ南面ノ途上隊
隊ニ集合スベシ

左 記

大隊本部 第八中隊 第五中隊 第六中

隊 第七中隊

セムベン西北方約ニ料²⁸⁵南側ニ又路ニ於テ部隊
ヲ整理シタル後各隊担任區域ニ向テ分進スル
其時刻ハ概ネ五三〇ト予定スルニ別命ス

五本場ヲ湯機關銃ノ配屬ヲ解ク

各隊配屬機関銃ハセムベン西北方²⁸⁵南側ニ又路
ニ於テ原所屬ニ復歸スベシ

六第五中隊長ハ軍演護衛トシテ一隊ヲ二十四日〇八

(納付書・台帳)

0264

陸軍

迄ニ階隊本部ニ出シ現ニ服務中ノ第三中隊ト交代
 スルニ第三中隊歸還スルニ原所屬ニ後歸スルニ
 各隊ハセレムバン掃蕩組仕地區ニ到リ現配屬中ノ
 自動貨車一ヲ以テ掃蕩分子輸送車ニ充當シ他ハセレ
 ムバン中隊學校ニ充當セシムバン
 但シ機關銃中隊・タノニハ大隊本部自自動貨車一ヲ
 配屬ス
 八各隊ハ當日朝晝食ヲ携行スル
 九各隊ハ當日左ノ通り檢索進捗狀況ヲセレムバン部
 隊本部ニ報告スル
 一二〇〇一四・一六・終了時期
 一〇子八三五部隊本部ト夫ニ前進シセレムバン到着後
 ハ逐次各隊ノ檢索狀況ヲ巡視ス
 第三大隊長代理 西原太 尉

0265

會報

八

下達法各隊命令受領者ヲ集メ口達筆記セシム

南警備隊會報

三月二十三日 一六〇〇
セムベシ部隊本部

一各隊ハ悪夜夜散折板毎日蠟取時間ヲ指定シ

或ハ毎週直轄日ヲ決定シ殺蠟ヲ勵行スルト共ニ

マシテ豫防ニ努メラレ度

尚寝冷ニ起因スル下痢患者發見^微アリ急務

或ハ敷布ヲ腹ニ巻ク等適宜ノ方法ヲ講ジ以テ之ガ

防ニ努メラレ度

一兵站ニ於テ指定セル慰安所ノ外私娼家屋ニ立

入りヲ嚴禁ス

一裝備用自轉車ヲ私用ノタメ使用スルトヲ禁ス

南警備隊會報

三月二十三日 一九三〇
セムベシ部隊本部

一去ル三月八日信第^七號ヲ以テ通牒セシ軍事郵便

物通深読使用例中

東京・八木園精

0266

功六

支那事變執行賞發令名簿

同	同	同	同	同	同	同	同	同	旭八	旭七	旭七	旭七
同	同	同	同	同	同	同	同	同	步兵一等兵	同	步兵伍長	步兵曹長

富	今	山	崎	加	木	佐	西	沖	遠	=	中	郷
永	田	本		谷	葉	木	本	野	藤	張	塚	端
知	惣		秋	米	千	壹		竹		定	康	逸
一	一	馨	大	郎	大	馬	治	次	精	夫	治	人
				次	代							

第七中隊

陸

軍

0267

同 同 同 瑞 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 旭
八

同 同 同 步 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 步
兵 二等 兵 一等 兵

仁 山 兼 小 八 中 三 平 岡 中 出 倉 藤 山
井 本 田 田 木 村 園 岡 田 島 雲 本 崎 西
成 正文 勇 竹 春 增 加 子 好 清
人 三 男 真 喜 一 三 悟 雄 四 一 以 寛 見

0268

瑞八

芳久等天

楠

本

勝

三

陸

軍

0269



陸軍	南才丸遣置ヲ馬末淑遣軍ニ訂正ス	異動	陸軍一等兵 任 登 忍	現人員 二 九一名	三月十四日 大曜日 晴 カニホニウルハナン	一中隊ハ八時起床次期検査ニ関シテノ注意ヲ與フ 午後ハ全員朝 掃蕩ノ準備ヲ完了シタル後沐浴セシム	二十之時ヨリ地方馬來人ノ慰問演藝ヲ受ケル 全員愉快ナル一日ヲ送ル 十九時解散ス	部隊衛兵トシテ倉本兵長以下五名服務ス	三昭和十五年四月十九日附ヨリ陸軍曹長御為勲章以下三九 名栄賞功績上由ニ於テ別紙ノ通り發令セラレタリ	命令 四 步兵第一聯隊日ノ命令 三月十五日ニシテ セレハハニ部隊本部	夕陸軍軍曹 菊原 哲夫

0271

外 矢 一 名	死体收容ノ為ニ木ノルハール憲兵隊ニ朱張ヲ命ズ 依ッテ三四日交通ヲ復シ現存地出發用濟後速ニ歸 隊スベシ	命 令	第三隊日ノ命令	三月二十四日十六日	一六隊ノ別紙計畫ニ基キ戰蹟記念碑及戰死位置 標示ノ設置ヲ實施ス	一三日第一地區及第二地區ノ戰蹟記念碑戰死位置 標示ヲ設置スルニ付關係各隊令計畫ニ基キ人員ヲ 左記通り差出シ各隊副官ノ指示ヲ受ケレムベシ	注 記	一 集合時刻	三月二十八時迄	二 服 装	小銃携行 彈藥定數	携帶口糧 二日分	東京小澤野
---------	--	-----	---------	-----------	------------------------------------	---	-----	--------	---------	-------	-----------	----------	-------

0272

陸軍

二大隊ハ別隊兵器受検計書ニ基キ来ル三月三日ヨリ三日間兵器検査ヲ實施ス

三月三日ハ一般休務日トス

會報

五

南警備隊會報

三月三十一日
セムハン警備隊本部

一外出者ニテ態度嚴正ヲ欠キ望軍ノ威嚴ヲ失墜スルモノアリ 留意セラレ度

九一名

現人員

月日

三月十五日 水曜日 晴 於カホンウルヘナンセムハン

一中隊ハ三時三十分起床四時五十分整列ヲ完了シ四時カホンウル

ヘナンヲ自動車行ニテ出發ス 五時三十分三角標字ニハ五・三又

路ニ到着ス 現在地ヨリ各掃蕩地區ニ分進シ 中隊ハ六時三十分

分セムハンニ到着ス 直ニ倉庫兵長渡利ト等兵ヲシテ

所定ノ位置ニ歩哨ヲ配置シ 三嚴正ト警備ヲ實施ス

又特火隊砲小队馬田中尉以下ニ五名予ノ指揮下ニ入り掃蕩

0273

隊ヲ編成シタル後休憩ス

ニ 七時各隊一葉月ニセレンバン市ヲ檢索ヲ開始ス

十二時セレンバン市約三分一ノ檢索ヲ實現シテ七時五十分

檢索終了不傾分子ニハ〇名ヲセレンバン憲兵隊ニ送局ス

三 西作命第一七 辨ヨリニ十時宿警準備完了ス

十時五分ヨリ對心間映西警員檢ヒラルトテ以テ松下伍長

以下五十七名ヲ觀覽セシム 十時歸隊ス

命令
四

西作命第一七號

第一大隊命令

三月二十一日
セレンバン

一 大隊ハ本月五日ヲ「セレンバン」ニ宿警セントス

二 各隊(「セレンバン」駐屯部隊ヲ除ク)ハ副官ノ指示ニ依リ宿

警スベシ

三 警戒ニ關シテハ各隊毎ニ直接警戒ヲ實施スベシ

四 外來ハ公用ノ外禁止ス

東京・八木園

0274

五、糧秣ハ携帶口糧甲ニ依ルベシ

六、予ハ大隊本部ニ在リ

大隊長代理 西原大尉

下達法 印刷文付

西作命第十八號

命令 五

第二大隊命令

三月十五日一七三〇
セレンバ

一、北地區警備隊區域ノ敵性分子ハ連續六次ニ亘リ各隊

ノ徹底的掃蕩ニ依リ一掃セラレタリ

二、大隊ハ一先ヅ掃蕩ヲ打切り各警備地ニ歸還センメン

トス

三、各隊(機關銃ノ配屬故也)ハ右記要領ニ依リ三月六日午後

現在地出發各警備地ニ歸還シ前任地務ヲ續行スベシ

左記

ハ第六、七中隊ハ「クワピラー」道自動車行但第六中隊

會
報
六

ハ「クワラビラー」ヨリ自轉車行（第六中隊ニ自轉車ニ第

七中隊ニ現有自動貨車ノ外一ヲ協力セシム）

ニ第八中隊ハ自轉車行

四. 大隊自動車班長ハ前記部隊ノ自動車輸送一協力ス

ハシ

細部ニ關シテハ直接協定スベシ

五. 各隊ハ歸還ニ當リ四日分ノ糧秣ヲ受領スベシ

六. 下角少尉ハ各隊糧秣四日分ヲ現在地ニ於テ交付スベシ

七. 予ハ大隊本部ニ在リ

大隊長代理 西 原 大 尉

下達法 印刷配布

會 報

二月二十五日一七〇〇
セシハシ第一大隊本部

一. 來ルニテハ二十九日兩日ハ兵團被服修理班ニ依リ被服修理日ニ付キ各隊ハ次期作戰ニ具ヘ左記要領

0276

ニ依リ徹底的ニ修理ヲ實施セラレ度

左記

一、各隊ハ修理品ヲ取纏メ二十八日一〇〇〇迄ニ經理室前ニ差出サレ度

二、修理品ハ出得ガレ場合ノ外ハ必ず洗濯ヲナシ片布ヲ附

シ註記ヲ明瞭ナラシムルコト

三、修理完了セバ速カニ現況調査ヲ經理室宛ニ提出セラレ度

一、各隊ハ「蠅取」ヲ勵行シ防疫ニ努メラレ度

二、防疫日ハ毎週日曜日トシ實施事項左ノ如シ

一、宿舎附近ノ清掃

二、豫防薬内服

陸軍一等兵

堀

江

俊

治

シゴラ材料監視股務中本日中隊復歸ス

異

動

七

一

陸軍

陸軍 大 長

山 本

警

診断の結果第四野戦病院に入院せしむ

九一名

現在頁八
月 日

三月二十六日 木曜日 晴 於セムバンニカラウ

一、中隊ハ八時起床二月十八日第三大隊日命令ニ基キ大隊慰霊祭
催施行セラルハ以テ十時三十分セムバン中學校ニ整列ス十一時
ヨリ開始サル

共ニ生死誓ヒマレ作戰ニ参加シマレ戦線ノ終結ヲ見スレテ
獲國ノ英靈ト化シタ今ハ無キ戦友ノ往時ヲ憶ヒ感謝ノ意ヲ
表スト共ニ益々大隊ノ團結ヲ固クシ大東亞戰爭ノ完遂ノ決
意ヲ固クシ

十三時三十分終了ス

二、中隊ハ十六時セムバンヲ出發・自動車ニ臺ニ分乘シ懷シノク
ワラヒラ兵營ニ向フ十七時三十分到着ス 元氣旺盛ニテ

0278

異勤 四一	勤務 三、本日、勤務員欠、如シ 宿舎ニ入シ										
	陸軍軍中	第四分哨	第三分哨	第二分哨	第一分哨	日直上等兵	日直下士官	巡察將校	日直下士官	日直上等兵	
菊	以	高	以	佐	以	郷	以	平	八	小	郷
系	下	橋	下	木	下	路	下	岡	木	田	端
啓	五	伍	五	上	五	伍	五	上	上	兵	曹
大	右	長	右	兵	右	長	右	兵	兵	長	長

陸軍

0279



勤務	現在員 月日	五 九三名
<p>三 本日、勤務員左、如シ</p> <p>巡 察 將 校</p> <p>日 直 下 士 官</p> <p>日 直 上 等 兵</p> <p>第 一 分 哨</p>	<p>一、本日ハ休養日ナレヲ以テ本掃蕩間、完全ナル兵器被服ノ手入ヲ 實施セシメタル後休養セシム</p> <p>二、中隊ハ十三時ヨリ益々中隊ノ團結ヲ鞏固ニスル目的ヲ以テ中隊 會員會食ヲ實施ス。吳漱森發以來ノ數シブテノ會食トシテ 以下會員意氣統合シ餘興ト欲トノ愉快ナル一日ヲ送ル</p>	<p>三月二十七日 全曜日 晴 於クワラコウ</p> <p>ジネールハール出張中ノ處本日無事ニ中隊ニ復歸ス</p> <p>以下ニ</p>
<p>橋 本 少 尉</p> <p>二 張 軍 曹</p> <p>加 藤 上 等 兵</p> <p>佐 々 木 上 等 兵</p>		

0280

會報
四

第二分哨

第三分哨

第四分哨

陸軍

以 郷 下 伍 長 名

以 郷 下 伍 長 名

以 平 岡 上 等 兵 名

以 藤 下 伍 長 名

以 藤 下 伍 長 名

以 藤 下 伍 長 名

以 藤 下 伍 長 名

南警備隊會報

三月二十七日
南警備隊本部

一 第二大隊部隊衛兵司令沖田条夫八部下ノ掌櫃確

實ニシテ服勞狀態極メテ良好ナリ

一 公用外出者ニシテ私物ノ襦袢ヲ着用シ或ハ逆メラレ

タル標識ヲ付セカレシムアリ嚴ニ取締ラレ度

(軍通信 西尾辰五郎外ニ名)

一 將校俱樂部ニ勝手ニ下士官兵ヲ引率シテ飲食セ

異動五

シム或ハ護樂セシムコトヲ嚴禁ス
一 兵站支部、兵長渡辺重男ハ上靴ノ儘外出シアリノ
意ヲ要ス

一 陸軍一等兵 早川春三

一 診断ノ結果第四野戦病院ニ入院セシム

一 陸軍上等兵 兼田文男

以下四名

大隊戦蹟記念碑及戦死位置標示ノタメ出發ス

現在員六八八名

二月二十八日 上曜日 晴 於クワラビラ

一 中隊八十特ヨリマレー作戦戦死者中本伍長以下八名柱

ノ中隊射心運祭ヲ實施ス

今ハ無キヲ護國ノ英靈ト化シテ勇士ニ對シ中隊全員哀悼
ノ意ヲ表スト共ニ愈々一致協力國是貫徹ノ意ヲ固メタリ

勤
勞

二 午後八日直下士官ヲシテ体操遊戯ヲ實施スルム
本日警備異常ナシ
三 本日ノ勤務員左ノ如シ

- 巡 察 將 校
- 日 直 下 士 官
- 日 直 上 等 兵
- 第 一 分 哨
- 第 二 分 哨
- 第 三 分 哨
- 第 四 分 哨

中 鴨 嶋 崎 崎 尉
 上 伍 少
 等
 長 長 長 長 長 長 長 長
 名 名 名 名 名 名 名 名

陸
軍

0283

會報 四

第二天隊會報

五月二十九日
セルバン第二天隊本部

- 一 防諜及軍紀確立、各部隊宿舎ノ柵内ハ營内トシ
- 一 一般地方人ノ出入ハ特ニ許可アル者ノ外之ヲ禁止ス
- 一 衛兵ハ軍人以外ノ出入ヲ監視シ歩哨ヘ許可證ヲ所持セザル一般地方人ノ出入ニ關シテハ衛兵所ニ届出セシムルモノトス

一 駐留人シキニ互レニ從ヒ外出上ノ非違行為繁發シアルニ鑑ミ各隊幹部ハ一層軍紀風紀ノ確守ニ關シ遺憾ナキ様注意セラレ度

陸軍上等兵 村重 塚 磨

入院中ノ處治癒退院本日中隊へ復歸ス

現在員 六八九名

三月二十九日 日曜日 晴 於クワラピラ

一中隊于前中次期聯隊兵器検査ニ備ヘテ完全ナル兵器ノ

陸軍省

0284

陸軍

平入ヲ實施セシム

二十三時ヨリ「クワラゴラ」維持會主催ニヨル慰問演藝ヲ見學

シ後全員會食ヲ實施ス

久振リニ音樂・珍クシキ「マレー」餘興ヲ見學・有意義ナル

一日ヲ愉快裡ニ送ル 十六時終了ス

十七時ヨリ体操遊戯ヲ實施セシム

三、此地區警備隊休務日ヲ別紙ノ如ク定メラル

四、本日ノ勤務員左ノ如シ

勤務

第二分哨	第一分哨	日直上等兵	日直下士官	巡 察 下士官	中 隊 軍 曹	昌 永 伍 長	渡 利 二 等 兵	鄉 路 伍 長	以 下 伍 長	藤 崎 伍 長
------	------	-------	-------	---------	---------	---------	-----------	---------	---------	---------

0285

會報五

第三分哨
以 松 下 伍 五 名

第四分哨
以 倉 本 兵 長

南警備隊 會報

三月二十九日
三月二十九日
三月二十九日

一、肅清工作後「マリア」患増徴アリ各隊ハ蚊ノ驅

除ノ徹底セシム早期更診ヲ勵行シ防瘧ニ遺憾ナキヲ期
セラレ度

又出民ノ言ニ依ルニ毎年四月五月頃ハ蚊ノ發生熾ニシ

テ之ガ爲横死スルモノ甚カラスト嚴ニ留意セラレ度

一、禮儀ニ疎ク不知不識ノ間禮ヲ失スルモノアリ陸軍禮式

ヲ十分研究シ禮儀ヲ誤ラザルト共ニ幹部ハ特ニ部下教

育ノ徹底ヲ圖ラレ度

備考	上	金	木	水	火	月	日	曜日
<p>一本表ノ如ク豫定スト雖モ肅清工作其ノ他ノ關係ニ依リ各隊ニ於テ彼此協定ノ上更スルコトヲ得</p> <p>此ノ場合ニ於テハ速ニ警備隊本部ニ報告スルモノトス</p>	<p>兵站・建築隊・運通</p>	<p>4PL 鐵道隊</p>	<p>3 8 P.</p>	<p>ITL 7 IIBD</p>	<p>TA 6 IM9</p>	<p>RIA 5 Ibia</p>	<p>警備隊本部 日/夜・憲兵</p>	<p>休務部隊</p>

北地區警備隊休務日豫定表 警備隊本部

0287